

第37回「SGIの日」記念提言

「生命尊厳の絆輝く世紀を」(下)

# 時代変革のビジョンを共有し

# 地球的課題への挑戦を!!

続いて、人々の生存・生活・尊厳に深刻な影響を及ぼすさまざまな脅威を克服するための具体策について言及したいと思えます。

## 「2000年の現在」の時間軸と責任感

その前に提起しておきたいのが、「平和の文化」の母と呼ばれたエリス・ポールディング博士が強調していた二つの観点です。以下、『平和の文化の輝く世紀へ』、福田大作全集第10巻所収。

一つは、人々が未来へのビジョンを共有した上で行動することの大切さであり、もう一つは、2000年の現在という時間軸に立って生きていくことの大切さです。

「2000年の現在」とは、今日を起点として過去100年と、未来への100年の範囲を、自分の人生の足場として捉えるものです。博士は、こう強調されています。

「人間は、現在のこの時点だけに生きる存在ではありません。もし自分をそういう存在だと考えるならば、今、起こっている事柄にたちまち打ちのめされて

「人間は、現在のこの時点だけに生きる存在ではありません。もし自分をそういう存在だと考えるならば、今、起こっている事柄にたちまち打ちのめされて